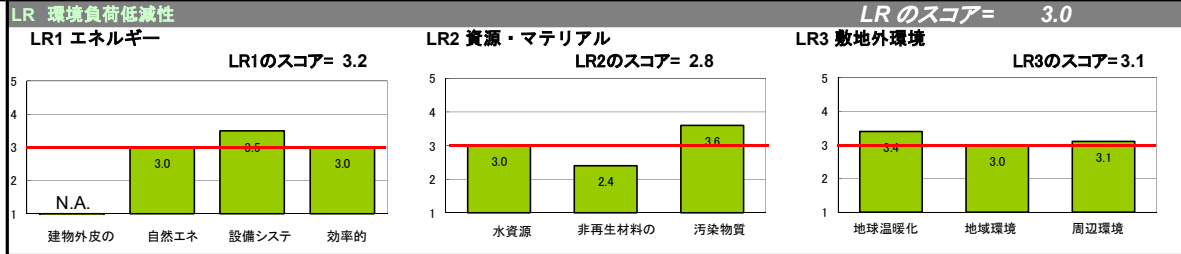
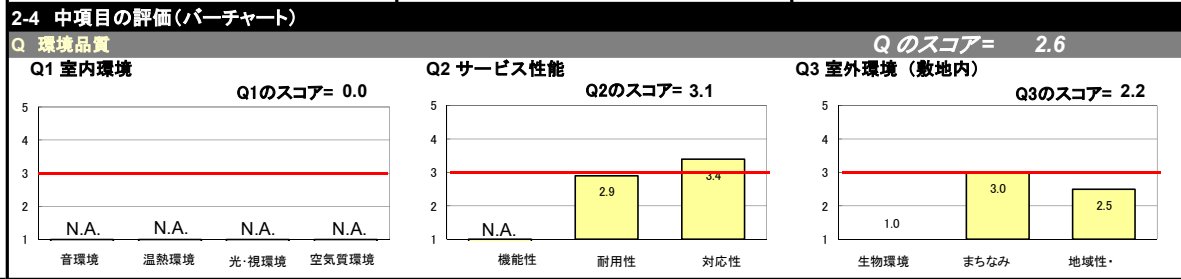
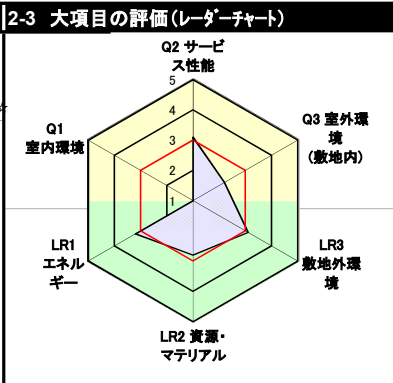
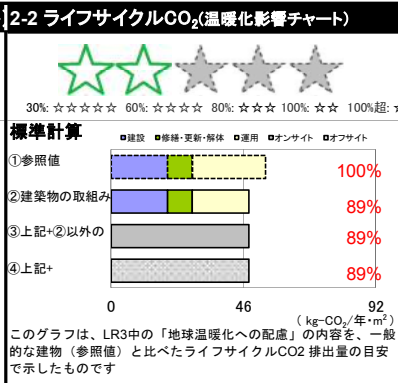
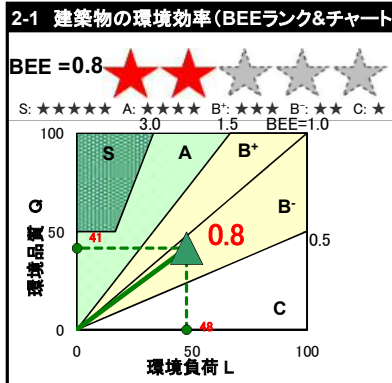


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社セキソー西尾工場新築計画	階数	地上2階
建設地	愛知県西尾市志籠谷町下45-1他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年11月29日
敷地面積	12,496 m <sup>2</sup>	作成者	吉岡 禎
建築面積	3,535 m <sup>2</sup>	確認日	2018年11月29日
延床面積	3,389 m <sup>2</sup>	確認者	吉岡 禎



### 3 重点項目

①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.4	1.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
2.9	1.0

外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 34.8 %

建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %

〈外装材に使用した地域性のある材料〉 なし

〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉 なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部 建物全体・共用部 階層・宿泊部 住居・宿泊部分						全体		
	独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数		評価点	評価点
<b>Q 建築物の環境品質</b>											2.6
<b>Q1 室内環境</b>											
<b>1 音環境</b>											
1.1 室内騒音レベル											
1.2 遮音											
1 開口部遮音性能											
2 界壁遮音性能											
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											
1.3 吸音											
<b>2 温熱環境</b>											
2.1 室温制御											
1 室温											
2 外皮性能											
3 ソーン別制御性											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
<b>3 光・視環境</b>											
3.1 昼光利用											
1 昼光率											
2 方位別開口											
3 昼光利用設備											
3.2 グレア対策											
1 昼光制御											
3.3 照度											
3.4 照明制御											
<b>4 空気質環境</b>											
4.1 発生源対策											
1 化学汚染物質											
4.2 換気											
1 換気量											
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮											
4.3 運用管理											
1 CO <sub>2</sub> の監視											
2 喫煙の制御											
<b>Q2 サービス性能</b>								0.43			3.1
<b>1 機能性</b>											
1.1 機能性・使いやすさ											
1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応											
3 バリアフリー計画		独自									
1.2 心理性・快適性											
1 広さ感・景観 (天井高)											
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画											
1.3 維持管理											
1 維持管理に配慮した設計											
2 維持管理用機能の確保											
<b>2 耐用性・信頼性</b>											
2.1 耐震・免震・制震・制振											
1 耐震性(建物のこわれにくさ)								2.9	0.52		2.9
2 免震・制震・制振性能								3.0	0.48		
2.2 部品・部材の耐用年数								3.0	0.80		
1 躯体材料の耐用年数								3.0	0.20		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②						2.7	0.33		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								3.0	0.23		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								2.0	0.23		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								3.0	0.09		
6 主要設備機器の更新必要間隔								3.0	0.08		
2.4 信頼性								3.0	0.15		
1 空調・換気設備								3.0	0.23		
2 給排水・衛生設備								3.0	0.19		
3 電気設備		②	中央式空調換気設備を持たない					3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法								3.0	0.20		
5 通信・情報設備								3.0	0.20		

<b>3 対応性・更新性</b>				3.4	0.48			-	3.4
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31			-	
1 階高のゆとり			工場部9.85m	5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率0.105	4.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.57			-	2.2
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30			-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30			-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									3.0
<b>LR1 エネルギー</b>					0.40				3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制					-				-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28				3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm0.75	3.5	0.43				3.5
4 効率的運用				3.0	0.29				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00				-
4.1 モニタリング				3.0	0.50				-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				-
集合住宅の評価					-				-
4.1 モニタリング					-				-
4.2 運用管理体制					-				-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					0.30				2.8
1 水資源保護				3.0	0.15				3.0
1.1 節水				3.0	0.40				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				-
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.63				2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24				-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-	3.0	0.20				-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20				-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05				-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	0.24				-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22				3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68				-
1 消火剤				-	-				-
2 発泡剤(断熱材等)			発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	0.50				-
3 冷媒				3.0	0.50				-
<b>LR3 敷地外環境</b>					0.30				3.1
1 地球温暖化への配慮		①	換算スコア=3.4	3.4	0.33				3.4
2 地域環境への配慮				3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50				-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25				-
1 雨水排水負荷低減		独自	調整池設置	4.0	0.25				-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				-
3 交通負荷抑制		独自	適切な駐車台数の確保	5.0	0.25				-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25				-
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				-
1 騒音		独自		3.0	1.00				-
2 振動		独自		-	-				-
3 悪臭				-	-				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.3	0.40				-
1 風害の抑制				3.0	0.70				-
2 砂塵の抑制				-	-				-
3 日照障害の抑制			1ランク上の日影規制を満足する	4.0	0.30				-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20				-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70				-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				-

# 重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

株式会社セキソー西尾工場新築計画

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.4</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.9</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:34.8%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

### ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社セキソー西尾工場

計画上の配慮事項	
総合	高効率設備機器を採用による省エネルギー
Q1 室内環境	特にありません。
Q2 サービス性能	特にありません。
Q3 室外環境(敷地内)	見通しの良い環境とし、防犯性に配慮した計画
LR1 エネルギー	LED照明をベースとした高効率機器の採用
LR2 資源・マテリアル	節水型便器を採用による水資源の低減
LR3 敷地外環境	適切な数の駐車スペースを確保
その他	特にありません。